

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公開番号】特開2009-294167(P2009-294167A)

【公開日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2008-150487(P2008-150487)

【国際特許分類】

G 01 K 7/24 (2006.01)

G 03 G 15/20 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

G 01 K 7/22 (2006.01)

【F I】

G 01 K 7/24 Z

G 03 G 15/20 5 5 5

G 03 G 21/00 5 0 2

G 01 K 7/22 Q

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月8日(2011.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

転写材にトナー像を形成する像形成部と、前記転写材に形成されたトナー像を定着する定着ユニットと、を有する画像形成装置において、

温度が低いほど抵抗値が高くなる素子を有し、前記定着ユニットの温度を検出する温度センサと、

前記温度センサからの信号を伝達するためのコネクタと、

前記コネクタに対して前記温度センサとは反対側に接続され、前記温度センサからの信号に基づいて前記定着ユニットの温度を制御する制御部と、

前記コネクタに対して前記温度センサと同じ側で、前記温度センサと並列に接続されるコンデンサと、

前記コネクタに対して前記温度センサとは反対側に設けられ、前記コネクタを介して前記温度センサに電流を流すための電源と、

前記コネクタに対して前記制御部と同じ側に設けられ、前記電源によって供給される電流に重畠されるパルス状の電流を、前記コネクタを介して前記コンデンサに流すための電圧を発生する電圧印加部と、

を有し、前記制御部は前記画像形成装置の電源投入に応じて前記電圧印加部に対して前記パルス状の電流を流すための信号を出力することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記温度センサに流れる直流の電流に対して、前記コンデンサに流れる電流のピーク値が大きくなるように前記コンデンサの容量が設定されていることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記温度センサはサーミスタであることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

**【手続補正2】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0017**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0017】**

上記の課題を解決するために、本発明の画像形成装置は、転写材にトナー像を形成する像形成部と、前記転写材に形成されたトナー像を定着する定着ユニットと、を有する画像形成装置において、温度が低いほど抵抗値が高くなる素子を有し、前記定着ユニットの温度を検出する温度センサと、前記温度センサからの信号を伝達するためのコネクタと、前記コネクタに対して前記温度センサとは反対側に接続され、前記温度センサからの信号に基づいて前記定着ユニットの温度を制御する制御部と、前記コネクタに対して前記温度センサと同じ側で、前記温度センサと並列に接続されるコンデンサと、前記コネクタに対して前記温度センサとは反対側に設けられ、前記コネクタを介して前記温度センサに電流を流すための電源と、前記コネクタに対して前記制御部と同じ側に設けられ、前記電源によって供給される電流に重畠されるパルス状の電流を、前記コネクタを介して前記コンデンサに流すための電圧を発生する電圧印加部と、を有し、前記制御部は前記画像形成装置の電源投入に応じて前記電圧印加部に対して前記パルス状の電流を流すための信号を出力することを特徴とする。